



# 関町小通信

平成27年10月30日  
練馬区立関町小学校  
学校だより 11月号

## ちょっと じゃまよ！ 先に通しなさいよ！

校長 福岡 勤

◇本校に着任して半年が経ちました。この間、校外学習の引率時に、自転車に乗車中の方から私などの指導者に向かって、標題のようなお叱りの言葉をいただいでしまうことが何度かありました。

本校の電車を使って実施する校外学習の多くは、最寄り駅の武蔵関駅ではなく、東伏見駅を利用します。これは駅までの道の安全と駅前での待機場所を求めてのことです。学校の北門を出て、天祖若宮八幡宮の脇や武蔵関公園の中を通り、スケート場のところに出るまで、子供たちの足ですと15分はかかります。神経を使わせながら静かな住宅街を縫うように歩かせるのですが、道中にはいくつ小さな交差点があります。このような所で、「チリン、チリン！」「朝はだれでも急いでいるのよ！」「(子供たちの列を)止めなさいよ！」などとの厳しい叱責…。

学校としては、安全上、「列を途中で分断させたくない、次の学級の教員がいる切れ目までは歩かせてほしい。」と思って、片手を挙げて「早く渡りましょう。」と子供たちに横断を促します。しかし、「交差点では、子供の歩行を直ちに制して止めるのが、筋でしょう。」とお思いになるのでしょうか、このほんの数秒間、片足を着いて待っていただけません。

皆様にも歩いていたら、たくさんの子供の列が…。電車を待っていて、到着した電車の車両が子供たちで満員…。そんなとき、「運が悪いなあ。」と心の中でつぶやいた御経験がおりかと思えます。これまで、長年にわたって遠足等の引率を行い、同じような場面に遭遇してきましたが、このようなことはほとんどありませんでした。思ったことを口に出して言う時代になったことや真にお急ぎのこともあるで



しょう。でも、弱い立場の子供たちを押しつけて、「後から自転車に乗ってさしかかった自分の方が優先だ。」と言う主張は、少々理解できません。学校側の思い上がりなのでしょうか？

◇話題を変えます。10月22日(木)、本校で「出前教育委員会」が開催されました。河口教育長のほか教育委員4名の方が、この「教育委員会」開催後、全学級の授業を御覧になりました。この後の6年生との会食までの懇談の席で、教育委員の方々から異口同音に「関町小の子供は、真面目で熱心ですね。」とお褒めの言葉を頂戴しました。

開かれた学校として、本校の保護者の皆様にも年8回の土曜授業を公開しております。昨年度までは、事前に連絡帳等で参観の申し出が必要だったようですが、区の「公開の原則」に従い本校の保護者であれば受付していただければ自由に土曜授業を御覧いただくことができます。どうぞお越しください。